

第2回おおさかスマートエネルギー協議会議事概要

開催日時：平成25年9月13日（金）13：30～15：30

場 所：大阪府咲洲庁舎 20階 会議室

1. 議題等に関するアンケート結果の報告

- ・事務局より、アンケートで構成員から出された議論・情報共有のテーマについて説明。
- ・アンケートの中で出されたテーマである「エネルギー基本計画見直し」と「太陽光発電の使用済みパネルの処理」について、近畿経済産業局と事務局より説明。

【主な質疑等】

- ・エネルギー基本計画を今年中に策定するのは難しいと考えてよいか。
⇒ 計画は今年中に策定することになっているが、再生可能エネルギーや火力、原子力などの比率、ベストミックスを明確にすることは難しい。
- ・消費者団体の立場からみると、原子力の問題もあるが、逆にCO₂が増える、電気代が上がるといった問題もあり、非常に難しい。
- ・国は成長戦略を打ち出し、GDPを伸ばしていこうとしている。省エネというが、国はどのような方向性にあるのか。
⇒ 無理にエネルギーを減らすということではなく、賢くエネルギーを使う、という方向である。BEMS、HEMSやスマートコミュニティなどとして進められている。

2. 今夏の電力需給状況

- ・関西電力より、今夏の電力需給見通しの説明と節電のお願い。
- ・事務局より、大阪府の節電取り組みと実績を紹介。

【主な質疑等】

- ・瞬時値で97%を超えていたが、その際に緊急時に電気を止めるという契約をしている事業者は電気を止めたのか。
⇒ 今回は発動していない。関西電力が公表している需要と供給のデータを単純に計算して97%を超えたと思われたかもしれない。原因は、需要は3分値を出しているが、供給側の更新タイミングがずれていたため。複数問い合わせもあり、反省点と考えている。
- ・今年は需給調整契約に加え、BEMSアグリゲータから電力調達をしているのか。
⇒ 試行的に複数回実施した。どの程度ご協力いただいたのか、数値としてとりまとめて公表していきたい。

3. エネルギー価格高騰の影響（意見交換）

- ・大阪商工会議所より、セミナーに参加した企業へのアンケート調査結果を紹介。
- ・関西経済連合会より、国への要望内容について紹介。
- ・事務局より、帝国データバンクと大阪市信用金庫の調査結果を紹介。

【主な質疑等】

- 弊社（関西電力）から皆様にお願ひした結果であり、皆様に大変なご迷惑をおかけしており、お詫び申し上げます。電力料金値上げの最大の要因は燃料費の増加であり、安全性が確認された原子力プラントは再稼働させていただきたい。
- 大手企業の中には電気代が上がって海外に移転する場合もあるが、地場に根ざした中小企業は簡単に海外に出れるものではなく非常に厳しい状況にある。
- 堺市が実施したアンケート調査においては、電気料金上昇分の販売価格の転嫁は9割の事業所ができないという結果であった。

4. 部門別会議の報告

- 事務局より、事業者・市町村の各部門会議の結果及び家庭部門会議の進め方について説明。

5. その他

- 事務局より、今後の全体会議及び部門別会議（事業者、家庭、市町村）のスケジュールについて説明。